

医療を通じて人と地域を結ぶメディカル情報誌

あかね akane

vol.31
2014
Summer

Close Up 土谷総合病院 外科

最新技術の導入と確かな実績で、患者さまの安心へ

Topics 土谷総合病院 入退院センター

中島土谷クリニック 健診センター



土谷総合病院 外科スタッフ

いま求められている医療の最高レベルを目指すとともに、明日の医療のあり方に機能しよう



医療法人あかね会

理事長挨拶

我々、医療従事者は、守秘義務を要求されています。刑法および保健師助産師看護師法で規定され、業務上知り得た個人情報 leaked した場合、六月以下の懲役または十万円以下の罰金が科せられます。守秘義務違反では、刑罰だけでなく、民事訴訟で、個人情報が漏らされたことに伴う損害賠償金が求められた事例もあります。2012年7月12日判決では、難病の少女の病状を看護師から他人に漏らされて精神的苦痛を受けたとして慰謝料など、330万円の支払いを求めた訴訟で、福岡高裁は病院側に110万円の支払いを命じています。

2003年5月23日個人情報保護法が成立し、2年後の2005年4月1日に全面施行されました。個人情報保護法では、5,000件以上の個人情報データを所持し、事業に用いている事業者は、個人情報取扱事業者とされ、一部の例外を除き、本人の同意を得なければ、個人データを第三者に提供してはならない、と定められています。残念なことに、今まで、医療機関で、数多くの個人情報漏洩事件が発生してきました。患者さんの個人情報が含まれたUSBメモリーの紛失が一番多いようですが、患者情報の入ったポータブルハードディスクの紛失や患者情報の入ったノート型パソコンの盗難も発生しています。

ところで、最近では、ソーシャルメディアを介した情報流出問題に対処する必要がでてきました。職務上知り得た個人情報を、Facebookに掲載したり、Twitterでつぶやいたりしてしまう問題です。先日、法人内で、情報リスク研修会を開催し、外部講師に、ソーシャルメディアを介した情報流出問題を講演していただきました。従来型の情報漏洩事件と異なるのは、ソーシャルメディアによる情報流出の場合、インターネットユーザーが写真を精査したり、過去のFacebook・Twitterを検証したりして、情報漏洩者を特定し、情報漏洩者の個人名・顔写真等のプライバシーをインターネット上に曝してしまう点です。

情報漏洩は、法律違反であり、罰を受けるのは当然ですが、ソーシャルメディアを介した情報流出の場合、情報漏洩者が、過剰なバッシングを受けてしまうおそれがあります。過去の事件の情報がインターネット上から消える可能性は低く、再就職が極めて困難になる場合もあるそうです。

医療法人あかね会
理事長

土谷 晋一郎

Tsuchiya Shinichiro





幅広い分野において、 各領域の専門家が 最新の技術と 技量を提供しています

広範な外科領域を
多数の熟練専門スタッフでカバーし、
最新の医療技術を提供できる
総合病院であると自負しています。

● 土谷総合病院 副院長

外科 主任部長 杉野 圭三

多数の領域から、甲状腺、消化器、ヘルニア
について紹介させていただきます

甲状腺外科 歴史と実績

難治性甲状腺癌を中心とした最先端治療
を行っています。広島大学第二外科以来の甲
状腺外科治療は当院で継承され、最適の治
療法を提案することができます。平成元年か
ら約2452例の甲状腺・副甲状腺手術を経験
し、その中では悪性腫瘍が1720例を占めてい
ます。2013年度の手術数は212例でした。

エコー診断の重要性

甲状腺腫瘍の診断に最も重要なものは最新鋭の超音波診断装置とエコー下細胞診(ABC)です。最近の機器では微小腫瘍の描出のみならず、腫瘍の硬度の評価(エラストグラフィ)も可能であり、ABCも迅速・簡便にストレスなく行えます。当院および関連の中島土谷クリニックでの年間甲状腺エコー件数は約4500、ABCは約1200です。

気管、食道、反回神経、大血管温存の重要性
早期の甲状腺癌は経過良好ですが、進行

甲状腺癌は食道・気管・喉頭・神経・頸動静脈
など生命・生活に必要な重要臓器に浸潤する
ことも多く、これらの合併切除が患者さんの生活
に与える苦痛、障害は極めて大きくなります。当
科では手術の根治性を追及すると同時にこれら
の重要臓器の温存・再建術に心がけています。

反回神経の温存と再建

発声運動を支配する反回神経への甲状腺癌浸潤は極めて大きな問題です。反回神経麻痺が起こると声帯運動は障害され、嗄声(声のしわがれ)や誤嚥が起こり、日常生活への支障が起こります。このような場合、以前では反回神経切断を余儀なくされていましたが、ルーベ下に神経を剥離し温存することが可能となりました。温存不可能な場合は、可能な限り反回神経再建術を行っています。

これまでに反回神経に浸潤した進行甲状腺癌症例を227例経験しています。この中で、神経剥離温存術を83例(37%)、反回神経再建術を120例(53%)に行うことができ、合計で90%の症例で反回神経機能を温存することが可能でした。術後評価可能であった一期的反回神経再建術では91%に音声の回復が認められています。



小切開による副甲状腺腫瘍手術

原発性副甲状腺機能亢進症は稀な疾患ですが、168例の手術を経験しています。最新の画像診断技術を取り入れ、総合的に腫瘍の局在を診断し、小切開による摘出手術を行っています。小切開手術は、これまで96例の経験があり、切開創も平均2.7cmと小さく患者さんに対する手術侵襲は極めて小さく、美容上の利点もある優れた方法と考えています。

消化器外科

当院の特色として、虚血性心疾患におけるステント留置、冠動脈バイパス、弁膜症における弁置換後、閉塞性動脈硬化症、慢性腎不全による血液透析、腹膜透析施行中の消化器症例が多数を占めています。抗血栓・抗凝固療法などを行っているこのような出血傾向のある症例の手術に関して、術前術後の周術期管理は厳重に行われる必要があります。循環器疾患、腎不全に対する豊富な経験をもつ循環器内科、腎臓内科、麻酔科との協力で安全な管理が行える体制が整っています。

胃癌

胃癌治療は日本胃癌学会のガイドライン発表以来、縮小手術が認められるようになってき

ました。早期癌に対しては消化器内科と相談の上、内視鏡的粘膜切除(EMR)を含めた低侵襲手術を検討しています。

最近の胃癌169例の5年生存率はStage IA 100%、IB 100%、II 93%、III A 38%、III B 32%、IV 18%でした。合併症を最低限に抑える再建術式を取り入れ、確実、丁寧かつ迅速をモットーに器械吻合も積極的に取り入れ、この1年間、縫合不全は全くありません。

大腸癌、直腸癌

最近では下部消化管手術の約40%は、腹腔鏡下手術となっています。この手術の最も大きな利点は、患者さんにとって、通常の開腹術(約15cm前後の創を要する)より楽であり、最短では術後8日で退院されており、大部分の方が12日~14日で退院可能です。

また進行癌では拡大手術を行うとともに、術後Quality of lifeの向上を考え、術式の改良を行なっています。最近の大腸癌144例の術後5年生存率はStage 0 100%、I 100%、II 96%、III a 84%、III b 38%、IV 0%でした。

腹腔鏡下胆嚢摘出術

当院での胆嚢摘出術に際しての最大の特徴は、「合併症を極力少なくすることを目的とし

ている」ことです。特に、心臓血管手術後で抗凝固・抗血小板療法施行中や、慢性腎不全で血液透析施行中など、出血しやすい病態に対する手術に関する多くの経験があります。

ヘルニア外科

鼠径ヘルニアについて(Kugel法の導入)

これまでの従来法(Liopic tract repair法)による手術は200例近くで再発率は3%前後と良好でしたが、最近では、手術手技を更に改良したKugel法が主体となり、当科でも、Direct Kugel法、Kugel法の両者を導入し、これまでに110例(Direct Kugel法:45例、Kugel法:65例)の経験があり、良好な成績をおさめています。

専門領域

1. 甲状腺外科: 癌、良性腫瘍、副甲状腺腫瘍 (担当: 杉野圭三、川口康夫、楠部潤子)
2. 消化器外科: 胃腫瘍、大腸腫瘍、直腸腫瘍、胆石症、胆のう炎、痔核など (担当: 西原雅浩、川口康夫、竹原寛樹)
3. そけいヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア (担当: 西原雅浩、川口康夫、竹原寛樹)
4. 乳腺外科: 乳腺腫瘍 (担当: 楠部潤子)
5. 癌化学療法 (担当: 西原雅浩、竹原寛樹)



Voice of Staff

患者さまのために 強い“志”を持って支える スタッフがいます

常に笑顔を決やさず
患者さまに安心感を与えることが
医師・看護師としての使命です。
そこで、当院で働く元気いっぱいの
スタッフをご紹介します。

● 土谷総合病院 外科



リフレッシュされた自分で、日々の仕事に臨みたい

消化器内科・外科病棟に配属されて11年目になりました。仕事へのエネルギー源として、オフの日は旅行やホームパーティー、登山やジョギングなどをして過ごしています。最近では香川県の「アートな島」で有名な「直島」へ行きました。レンタルした自転車で海沿いを走りながら、島中至る所にある作品を一日かけて巡るので、爽快な気分を楽しめる場所です。心も身体もリフレッシュさせながら、日頃の仕事への活力につなげていきたいと思えます。

6階北病棟 看護副主任 田村 奈緒子



子ども達にたくさん愛情をもらっています

外来に配属されて6年、外科／外来化学療法室の担当をしております。私には小学2年生の娘と年中の息子がいます。看護師と母親の両立で大変ですが、子ども達の「お母さん、大好き♡」という言葉に助けられながら毎日奮闘しています。最近の悩みはかわいい子ども達がいつまでハグやチューをさせてくれるのかという事です。疲れて帰った時も子ども達とふれあう事でとても癒されています。きっと今日もいつものように「お母さん、おかえり〜!!」と、めいっぱい両手を広げて出迎えてくれるはずです。

外来看護師 北井 典子

「チャンス・チャレンジ・チャーミング」を常に心がけて

入職3年目の外科医師事務です。患者様にとっては不慣れな病院環境の中で、不安の多い受診から手術までを事務方として誠意を持ってご案内いたします。『チーム外科』の一員として患者様やスタッフの方から信頼され、愛される医師事務になれるよう日々奮闘中です。大切にしていることは『チャンス・チャレンジ・チャーミング』の3Cです。

最近、友人に誘われマラソンを始めました。年末地元で行われる大会に出場し、笑顔でゴールできるよう頑張ります。

医師事務作業補助者 前原 恵





土谷総合病院1階に 入退院センターを 設けました

入院・退院のサポートを行い、
患者さまの不安を
ひとつでも減らせるように
努力して参ります。

●土谷総合病院
入退院センター 亀井 久美子



▲各窓口には仕切りがあり、患者さまとスタッフが落ち着いて話することができる空間となっております。



▲CSセット

入退院センター紹介

今年の3月10日、土谷総合病院で入退院センターをオープンしました。立体駐車場側の玄関に入って左側の部屋です。最初は会議用テーブルを借りてきて間に合わせのような部屋でスタートしましたが、5月に床や壁を張り替え、新しくカウンター式のテーブルを設置し、部屋全体のリニューアルをしました。

「何をするとところ？」と思われるでしょうが読んで字のごとく、患者様の入院や退院にかかわる業務をしています。具体的には入院日が決まった患者様、ご家族様に対して入院に関する説明をし、安心して入院生活を送ることができるよう援助させて頂くことが大きな目的です。

スタッフは看護師3名、ソーシャルワーカー3名、事務職1名の計7名が所属しています。「親切丁寧な対応に努めよう～気くばり目くばり 心くばりを忘れないで～」をモットーとして日々励んでいます。

入院当日にはまず入退院センターに寄っていただき、保険証の確認や入院に必要な

書類を受け取るなどの入院手続きをしていただきます。

また、患者様から入院前の生活を伺い、病棟看護師への情報提供もしています。

入退院センターは現在入院に関連することを主な業務としていますが、今後は一括した病床管理も行う予定です。ソーシャルワーカーや病棟としっかり連携して退院支援にも力を注いでいきます。このように入退院センターの機能の充実を図ることによって患者サービスの向上、医療の質の向上が期待され、何より患者様が安心して当院での医療を受けていただけるのではないかと思います。

新しい部署のため、業務はまだまだ試行錯誤の日々ですが、色々な方の意見に耳を傾けながら、良い所はもっと良く、良くない所は改善していきたいと思っておりますので、皆様のご意見をお寄せいただければ幸いです。

パジャマやタオルなどのレンタル 「CSセット」を開始しました

急に入院が必要になった場合や入院準備を軽減するために、2月から入院時必需品レンタルシステム「CSセット」を開始しました。主にパジャマやタオル等、入院に必要な物品の貸し出しをしております。例えばAプランの「手ぶらで入院プラン」は下着のみ準備していただければスリッパ、ティッシュペーパー、歯ブラシなど入院生活で必要な物を用意いたします。料金は日額458円(税抜き)×契約日数となります。基本的なプランは4種類あり、追加で紙おむつプランもありますので状況にあわせて選んでいただけます。遠方から入院される方や、ご家族の方が洗濯をしなくて良くなったなど好評で、利用される方が増えています。



▲ 待合ロビー

中島土谷クリニック 健診センターを リニューアル

一人ひとりが
より快適に、リラックスして
過ごせるロビーを目指しました。

● 中島土谷クリニック

健診センター 事務部課長 永井 誠生

待合ロビーの リニューアルについて

中島土谷クリニック健診センターの前身「土谷健診クリニック」は、平成7年5月に土谷総合病院に隣接するニッセイ平和公園ビルの9階に開設されました。早いもので、来年で開設から20年の節目を迎えます。

その後、平成13年7月に、現在地である中島土谷クリニックの新築に合わせ、5階に全面移転し、「中島土谷クリニック 健診センター」として再出発してから13年が経ちました。

開設当時から使用していた備品類も、年月の経過とともに見た目も古く、使い勝手が悪くなってしまいました。そこで、ご利用者様の環境改善のためにも、心機一転リニューアルすることになり、昨年12月、待合ロビーの椅子を中心に、備品類の入れ替えを行いました。

利用される方がリラックスでき、健診待ち時間を快適に過ごして頂けるよう、背もたれの無いベンチ式の長椅子から、お一人ずつ座れる肘掛付きの椅子に変更いたしました。

また、リクライニング機能を備えた一人掛け



▲ プライベートブース



ソファでゆったりとお待ちいただける、プライベートブースも新設いたしました。

今後とも、より良いサービスをご提供できるよう努めてまいりますので、皆様のご利用を心よりお待ちしております。

子宮がん・乳がん検診の 実施曜日変更について

2014年9月1日(月)より、子宮がん・乳がん検診の実施曜日を、一部変更することとなりました。

【2014年8月29日(金)まで】
月曜日・火曜日・金曜日

↓
【2014年9月1日(月)から】
月曜日・火曜日・木曜日

当面、何かとご不便をお掛けいたしますが、ご理解・ご了承賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申しあげます。

中島土谷クリニック 健診センター
〒730-0811
広島市中区中島町6-1・5階(土谷総合病院南側)
TEL/082-542-7272 FAX/082-542-7277
受付時間・・・8:30～17:00 休診日・・・土日祝

Tsuchiya Support Section

電子カルテの導入



本部署事務局 情報管理部課長

鈴木 隆宏

今年3月、電子カルテを導入しました。稼働までの導入期間が短く、ベンダーと現場をつなぐ事務局として活動していた鈴木をはじめとする情報管理部スタッフには大きな負担がかかりました。しかし、皆が責任をもって役割を果たしたことで、そして医師や看護師だけでなく、院内スタッフすべての協力により無事に稼働することができました。

今後は電子カルテという新しいインフラを使ってスタッフの業務効率化を行ない、患者様へのサービス向上、開業医の先生方との病診連携を今まで以上に実践していきたいと考えております。そしてインフラを安定稼働させるよう、情報管理部には今後も期待しています。

土谷総合病院 事務長
佐々木 誠

Column

一枚の写真

原爆から再建した土谷病院

この写真は昭和30年代の写真です。

昭和12年に西新町(現・河原町)に開設された外科土谷病院は原爆で焼失しました。

その1年後、現在の大手町5丁目に写真奥の土谷病院と書かれた木造の建物(病床数42床)を再建し、昭和30年になって手前の4階建てのビルを増築しました。

目の前の道路は現在の2号線です。昭和39年の東京オリンピック開催時に、聖火リレーがこの前を通過したのを覚えています。

土谷総合病院 院長 土谷 治子



地域連携医紹介

地域の医療機関との緊密な連携と機能分担を推進し、医療技術の向上を図ります。

いけだ放射線科胃腸科

内科 胃腸科

院長 池田 みどり

先代から診療所を継承して早9年目となりました。
開業までは放射線診断医として各病院に勤務し、各科のいろいろな疾患を経験させていただきました。

患者さんの話をしっかり聞くことを心がけ、内科全般、訪問診療、健診などとともに、ご本人だけでなく、家族も含めて「まずは相談」できる家庭医を目指し、日々、診療にあたっています。また、女医であることを活かし、女性が話しにくい内容の症状や悩みを相談しやすい環境や雰囲気作りに気をつけています。

これからも、地域に寄り添った診療所として頑張りますので、宜しくお願いいたします。

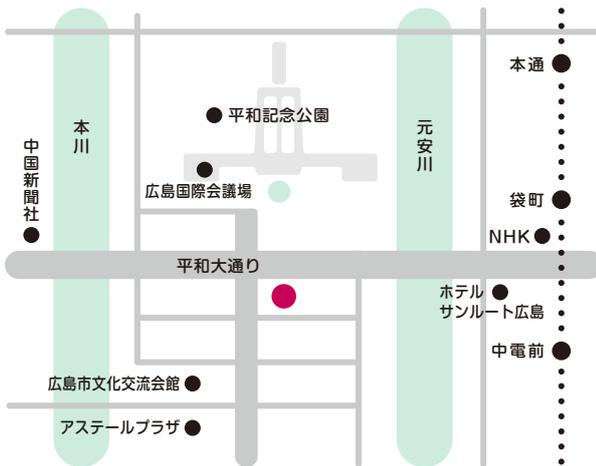
☎ 082-241-3058 Fax 082-542-4351
受付時間 / 月・火・水・金 9:00~13:00、15:00~18:00 木・土 9:00~13:30
休診日 / 日・祝日
住所 / 〒730-0814 広島市中区羽衣町11-2



医療法人 あかね会

土谷総合病院

〒730-8655 広島市中区中島町3番30号
☎ 082-243-9191 (代)



- **阿品土谷病院**
〒738-0054 広島県廿日市市阿品四丁目51番1号
☎0829-36-5050 (代)
- **大町土谷クリニック**
〒731-0124 広島市安佐南区大町東二丁目8番35号
☎082-877-5588 (代)
- **中島土谷クリニック**
〒730-0811 広島市中区中島町6番1号
☎082-542-7272 (代)
- **介護老人保健施設シエスタ**
〒738-0054 広島県廿日市市阿品四丁目51番1号
☎0829-36-2080 (代)

在宅事業部(介護サービス部門)

土谷訪問看護ステーション

光南 ☎082-544-2789	西広島 ☎082-507-0855
大町 ☎082-831-6651	出汐 ☎082-250-1577
佐伯 ☎082-925-0771	

土谷ヘルパーステーション

光南 ☎082-545-0311	西広島 ☎082-507-0877
大町 ☎082-831-6654	出汐 ☎082-250-5080
佐伯 ☎082-925-0770	戸坂 ☎082-502-5205
可部 ☎082-819-2250	矢野 ☎082-820-4825
阿品 ☎0829-20-3585	

土谷居宅介護支援事業所

光南 ☎082-504-3202	西広島 ☎082-507-0866
大町 ☎082-831-6653	出汐 ☎082-250-3730
佐伯 ☎082-925-1550	戸坂 ☎082-502-5215
矢野 ☎082-820-4835	阿品 ☎0829-20-3721

土谷デイサービスセンター

光南 ☎082-544-2885	大町 ☎082-831-6600
------------------	------------------

スタッフ募集

心豊かな医療を提供し、楽しく時間を共有しながらスキルアップに繋げるために、あかね会では、やる気のある方、経験豊富な方の募集を随時行っています。詳しくはホームページをご覧ください。



編 | 集 | 者 | 後 | 記 |

リニューアルした茜になって3回目の編集となりました。1回目の時に比べ要領よくできるようになってきましたが、写真撮影時に緊急が入るとスタッフの手が取れず中断される事も、なかなか予定通りに進まず焦ってしまうことも多々あります。しかし、忙しい中仕事の合間を縫って、どのスタッフも快く笑顔で写真撮影に応じてくれます。そんなスタッフの、とびっきりの笑顔を皆様に紹介できるよう心がけています。 本部事務局



医療法人あかね会 本部事務局

〒730-0811 広島市中区中島町4-11
☎ 082-245-9274
http://www.tsuchiya-hp.jp
2014年7月発行